

福井県危機管理課と連携した地震保険啓発

～福井駅西口で街頭啓発活動を実施～

日本損害保険協会福井損保会(会長：高原 一祥・三井住友海上火災保険株式会社福井支店長)では、防災の日である9月1日(月)にJR 福井駅西口において、福井県危機管理課、福井県損害保険代理業協会のメンバーと共に街頭啓発活動を実施し、通勤客に地震保険の啓発チラシ・ポケットティッシュを配布しました。チラシを受け取った方からは、「これだけ多くの地震が起きている以上、地震保険は必要だね」といった声も聞かれました。

2024 年度の福井県における地震保険付帯率(当該年度に契約された火災保険《住宅物件》契約件数のうち、地震保険を付帯している件数の割合)は73.4%と、全国平均の70.4%は上回っているものの、3割弱の方がご契約いただけていない状況です。

当支部では引き続き、自治体とも連携し、地震保険の普及促進に取り組んでまいります。



チラシを配布する高原会長①



チラシを配布する高原会長②